



# 「アクティブ・シニア」時代を拓く

P24～25 抜粋

## － 多様なライフステージを －

～、若い世代に比べ、社会経験や人生経験が豊かで、生涯現役志向が強く、仕事や趣味にも非常に意欲的でチャレンジ精神旺盛。70歳を超える元気なシニア、いわゆる「アクティブシニア」世代が下支えする時代となり、～、

～、年齢に関わりなく、能力に応じていきいきと働くことができ、また地域社会の重要な構成員として地域活動や NPO 活動などに活躍できる社会を目指して、～

P26～29 抜粋

シニア世代の人口が増加するなか、県内の自治体でも就業や社会参加支援など活躍の場を拡大するための取り組みを実施している。このコーナーでは70歳以上で仕事や趣味、ボランティアなどさまざまな分野で意欲的かつ元気に活躍する「アクティブシニア」の方々にインタビューし、始めたきっかけや続けていく秘訣など思いを語ってもらった。



### 波多江保彦さん(77歳) おもちゃ病院伊都国代表

「最初は個人的趣味だった。生き返ったおもちゃを手にした時の子どもたちの笑顔が生きがい」と語るのは、ボランティア団体「おもちゃ病院伊都国(いとこく)」の代表を務める波多江保彦さん。2007年に糸島市で立ち上げ、壊れたおもちゃを子どもたちの目の前で無償修理する活動を続けている。電機メーカーでエンジニアとして働いていた経験を生かし、現在では平均年齢66歳、23人の会員とともに年間450個を手掛ける。スタッフ間の交流や相互啓発で、活動の幅は年々広がっているという。特技を生かした地域貢献に今後も力を注いでいく構えだ。

